

消防自動車写生大会



町長賞
なかにしななみ
中西七海
菺野小学校
5年



防火協会長賞
ゆうきしゅんた
有木駿太
朝上小学校
2年



町議会議長賞
やまだゆづき
山田唯月
千種小学校
1年



中日新聞社賞
うめだゆり
梅田優里
菺野小学校
4年



教育長賞
まつおかさほ
松岡佐保
竹永小学校
2年

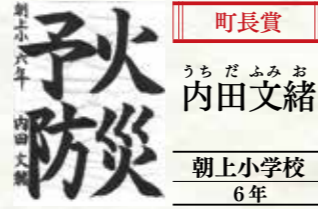


消防長賞
つきおかゆきや
月岡幸也
千種小学校
4年

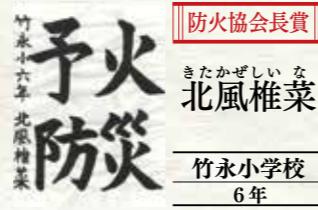


消防団長賞
もりりお
森 吏皇
鶴川原小学校
5年

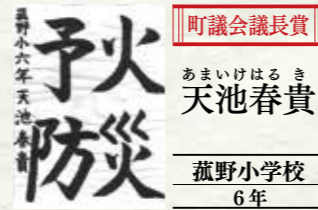
※敬称略



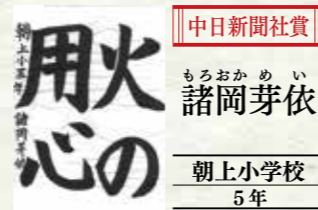
町長賞
うちだふみお
内田文緒
朝上小学校
6年



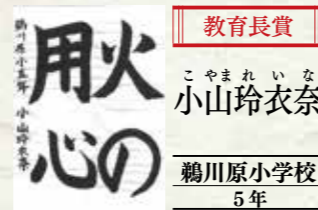
防火協会長賞
きたかぜしいな
北風椎菜
竹永小学校
6年



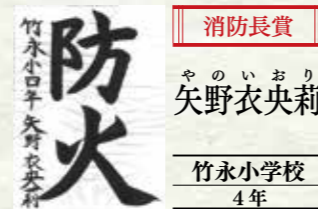
町議会議長賞
あまいけはるき
天池春貴
菺野小学校
6年



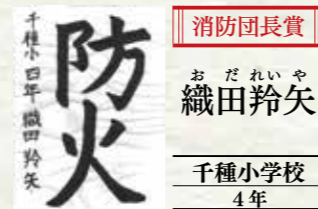
中日新聞社賞
もろおかめい
諸岡芽依
朝上小学校
5年



教育長賞
こやまれいな
小山玲衣奈
鶴川原小学校
5年



消防長賞
やのいおり
矢野衣央莉
竹永小学校
4年



消防団長賞
おだれいや
織田鈴矢
千種小学校
4年

防火書道コンクール

町 防火協会は、作品の発表を通して園児や児童の防火意識を高めるために、防火書道作品を募集し、消防自動車写生大会を開催しました。書道コンクールには451点

の応募があり、写生大会には75名が参加し、それぞれ最優秀賞7名、優秀賞10名、佳作10名が選ばれました。今月号では、最優秀賞に選ばれた作品をご紹介します。

今後の作品展示予定

令和5年の秋の火災予防運動にあわせて、今回の入賞作品をイオンタウン菺野モール棟に展示します。



令和5年 11.9(木) → 11.21(火)



菺野町交通安全作文コンクール表彰式

四日市U-1こものライオンズクラブ会長賞 安田小桃 (菺野小5年)

四日市西地区交通安全協会会長賞 宮越新 (菺野小5年)

菺野町交通安全協会会長賞 松永結斗 (八風中1年)

菺野町教育長賞 織田鈴矢 (千種小4年)

菺野町議会議長賞 平澤虹花 (竹永小5年)

四日市西警察署長賞 渡部陽愛 (朝上小6年)

菺野町小中学校長会長賞 向井廉太郎 (菺野中1年)

※敬称略

菺野町交通安全作文コンクール

交 通安全を題材にした作文コンクールの入賞者7人の表彰式を9月28日に役場本庁で開催し、菺野町長賞に選ばれた松永結斗さんが入賞者を代表して作品を発表しました。このコンクールは町内の小中学生を対象に募集したもので、723人から作品が寄せられました。

思いやりから交通安全

八風中学校1年 松永結斗

僕は中学校に入学してから、自転車で通学するようになりました。自転車で通る道は小学校時代とほぼ変わらないのですが、スピードが出る分、曲がり角から車が出てこないかなど、確認することが増えました。その中でも、特に気を付けていることがあります。それは、横断歩道を渡ろうとする人がいるか確認することです。なぜ、このことを一番気を付けているようになったかというのには、ある出来事があったからです。

一か月前のことです。通学中に僕は、誤って自転車を倒してしまいました。ハンドルが直角に曲がってしまった自転車を起こすのに苦労していると、それを助けてくれた人がいました。その人は、なんと通りすがりの小学生だったのです。顔も知らない二人の小学生が「大丈夫ですか」と声をかけてくれました。僕はそのとき、何か恩返しをしたいと思いました。それ以降、横断歩道を安全に渡れるように、歩行者がいれば絶対に止まるようになりました。

しかし、横断歩道に人がいるとき、僕が止まっても、他の自転車や車が止まらず通り過ぎたことがあります。僕はお父さんから、三重県は横断歩道に人がいても止まらない車両の割合が高いと聞いたことを思い出して、調べてみました。JAFの調査によると、横断歩道に歩行者がいるとき、止まる車の割合は、三重県の場合、2018年は、1%程でしたが、去年には49%になっていることがわかりました。これだけ見ると止まる人が、かなり増えていますが、菺野町では、どのようになっているのかと思います。

いつも通学路の交差点で見守ってくださっている地域の方にお話を伺いました。その方によると、見守り活動を始めた8年前は、そこを通る自転車や車は、今よりも交通マナーが良くなかったそうですが、年々良くなっていき、今は交通マナーを守る人がかなり増えてきているそうです。しかもそれが、自転車や車を厳しく指導したことで改善したのではないと聞いて驚きました。その方が活動をするとき心掛けているのは、交差点を通る全ての人に挨拶をすることだそうです。それを何年も続けていると、思いが伝わったのか、自転車の中学生はしっかりと左右を確認してから交差点を渡り、さらに止まってくれた車にお礼を言うようになりました。車の運転手も渡ろうとする人を見つけたら、早めに止まってくれるようになったそうです。

僕はこのお話を聞いて、改めて助けてくれた小学生のことを思い出しました。なぜなら、僕も交差点を通る人たちも他の人の思いやりをきっかけに交通ルールを守るようになったからです。僕も以前は、横断歩道に人がいても、急いでいて、止まれないときがありました。でも、助けてもらってからは、人がいれば止まるようにしています。

僕の行動で思いが他の人にも伝わって、新たに思いやりの心が芽生え、それが菺野町内の交通安全につながっていくといいなと思います。



問い合わせ
消防本部予防課
TEL 394-3238
FAX 394-5766

